

ザ・ダウ・ケミカルカンパニー
最高経営責任者 ジム・フィッターリング 殿
ダウ・ケミカル日本株式会社
代表取締役社長 パトリック・マクラウド 殿
日本アクリル化学株式会社
代表清算人 古川 洋次 殿

争議の公正迅速な解決を求める要請

日本アクリル化学（株）は、2020年9月30日、名古屋工場閉鎖を強行し、全国一般の組合員10名を全員解雇し、その後、2021年12月17日、会社を解散したと言っています。しかし、ザ・ダウ・ケミカルカンパニーを頂点とするダウグループは、生産拠点を名古屋工場から台湾および他の海外工場に移管し、より利益を上げようとしています。ダウ・ケミカル日本（株）は、現在も日本内外でアクリル製品を販売し、利益を上げています。多国籍企業ダウグループの利益のため、名古屋工場の労働者の雇用と生活が破壊されています。

この間、日本アクリル化学（株）は、日本アクリル支部の組合事務所の使用を妨害し、組合事務所に無断侵入し、さらには代替事務所もなしに組合事務所を取り上げようとしています。また、日本アクリル化学（株）は、ジャクリル労組を優遇し、日本アクリル支部に対し切崩し攻撃をかけています。日本アクリル支部は、いま、最も組合事務所を必要とする時です。

日本アクリル化学（株）は、全国一般労働組合、同愛知地方本部、日本アクリル支部の3労組に対し、いったんは解決案として提示した「特別退職金等を含む合計額119,660,460円」の回答を撤回し、現在は1円も払わないと言っています。和解協議の経過を無視する背信的なゼロ回答です。組合員10名は、特別退職金等も撤回され、解雇後の生活保障もない状態に置かれています。

名古屋地方裁判所では、2022年7月20日付仮処分決定、2023年2月15日付判決と、不当な決定、判決が出されています。組合員10名と3労組は、名古屋高等裁判所に控訴し、控訴が認められることを確信しています。

ザ・ダウ・ケミカルカンパニー、ダウ・ケミカル日本（株）、日本アクリル化学（株）の3社に対し、解雇を撤回し、従来 of 回答を尊重し、争議の公正迅速な解決のため真摯に努力することを要請します。

2023年 月 日

氏 名	住 所

この署名は、要請書提出以外には、使用しません。

【取扱団体】 アクリル争議支援共闘会議事務局（全国一般労働組合事務局内）
〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目4番4号 全労連会館9階
TEL : [\(03\) 5840-6277](tel:0358406277) FAX : (03) 5689-5240